

「小学校所蔵教育関係資料」

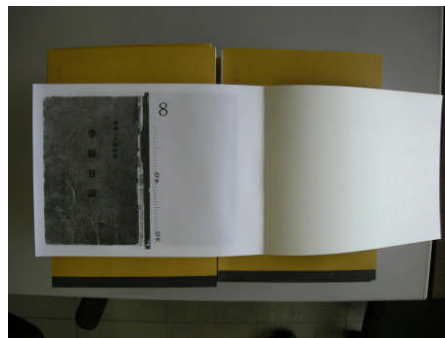
平成22年(2010)5月現在、茨城県内には約570の小学校があります。もっとも古い小学校の創立は、明治5年(1872)の学制頒布にさかのぼりますから、今から140年も前のこととなります。

平成の市町村合併が一段落し、本県は、現在32市10町2村の合計44市町村から成り立っていますが、明治22年(1889)4月に市町村制が敷かれた時には、県内唯一の市であった水戸市をはじめとして、575の町や村がありました。「おらが村(町)のおらが学校」と例えられたように、一つの村(町)に一つの小学校があり、地域の行政センターとしての役割も担っていたのです。多くの小学校は、校名に当時の村(町)の名前を今に伝えます。そのため、小学校が所蔵し、現在に引き継がれた資料は、地域に関する貴重な歴史資料といえるのです。

茨城県立歴史館では、これらを調査・収集し、保存するとともに、一般に公開することは重要な責務であると考え、平成7年度(1995)から各小学校が所蔵する資料を借用し、マイクロフィルム撮影という形で収集し、順次写真版を作成し、閲覧・公開する事業を行っています。



マイクロフィルム



写真版

収集の対象とする資料は、[資料1 調査・収集の対象とする教育資料](#) (91KB) のとおりです。昨年度までの16年間に、約2千点の資料を借用し、マイクロフィルムで約20万コマ分の撮影を行いました。これまでの実績と今後の課題については、[資料2 教育資料収集実績及び計画](#) (192KB) をご覧ください。

収集は、概ね市町村を単位として実施しています。対象市町村の教育委員会を通じて、各学校に対し、収集への協力をお願いし、具体的な訪問日時を決めます。学校を訪問し、校長先生立ち会いの下で資料を調査させていただき、対象と蔵資料についてはおよそ1ヶ月程度借用し、マイクロフィルムへの撮影を行います。平成23年度はつくば市を対象としておりますが、市域が広く、小学校数も37を数えるため、3年計画で進める方針です。本年度はその2年目となります。

これまでの状況を示した地図が、[資料3 教育資料収集進捗状況図](#) (1.96MB) となります。

次に、収集した資料群の概略を述べ、そのうち特徴的な資料の写真を下に掲載します。また、一部を抜粋して解説したものを[資料4](#)～[資料11](#)に紹介します。

1 学校沿革誌

学校沿革誌は、卒業証書授与台帳、例規通牒及び重要報告綴等とともに、必要な表簿とされており、全ての学校で保管されています。

茨城県では、明治10年(1877)8月23日付けの布達乙第132号で、「今般教育事務別冊之通改正并増補候條此旨布達候事」とあり、その中に「学校沿革誌編輯ノ儀」の項目が掲げられました。それによれば、「公立学校にあっては必ず沿革誌並びに日誌を備えよ。沿革誌は明治10年12月迄の分を1冊とし、その後は5年ごとに編

集し県庁へ提出せよ。」と定められました。

資料4として、「設置廃止設備」を記した北茨城市立平潟小学校の学校沿革誌を掲載します。

2 学校日誌

「学校日誌」は日々の教育活動を記録した資料ですが、上にあるとおり、そもそもは学校沿革誌の編纂資料としての性格を持っていたようです。児童の在籍数・出欠、教員の動静、行事・式典等、学校事故・災害・伝染病流行等の状況が明らかになります。時には社会の大きな動きも記録されています。

現行の規程で、保存期間が5年と定められており、年限が到来したものは廃棄されることが多く、近年のものはもちろん、明治・大正期の学校日誌が残る例も極めて少ないです。**資料5**として、[関東大震災直後の記録（写真2）](#)が残る、常陸太田市立幸久小学校の[「大正12年度校務日誌」（写真1）](#)を紹介します。

3 郷土誌

郷土誌は、郷土理解及び郷土教育の推進を目的に編さんされた地域資料です。これらが学校に残されているのは、編さん者が教員だったからと考えられます。本館が収集した最も古い郷土誌の作成時期は明治14年ですが、多くは大正期から昭和期初頭に編さんされています。この理由は、地方改良運動に伴う国民教化運動において、郷土教育が着目されたことが契機であります。

内容は、総論として位置・気候等に始まり、沿革、行政区域、公共施設、教育、産業、土木、衛生、財産、財政、貯蓄などが記述され、非常に詳細です。当時の町村の実態を把握することができる貴重な資料であります。

今回は、**資料6**として、日立町（現在の日立市の一部）の郷土誌を紹介します。もともとは日立市立大雄院小学校が所蔵していた資料で、同校が日立鉱山の衰退と共に閉校となり、日立市立宮田小学校に引き継がれたものです。

4 その他

(1) 敗戦直後の軍国主義者・国家主義者の調査に関する件

常陸太田市立小里小学校に残る、**資料7**「連合軍指令等綴」より抜粋

(2) 脱脂粉乳を利用した給食の一例

常陸大宮市立緒川小学校に残された、**資料8**「給食関係公文書綴 小瀬第一小学校」より抜粋

(3) 本校給食の経過

昭和37年に編修された資料ですが、学校給食草創期の苦労がしのばれる記述が残されています。常陸太田市立西小沢小学校に残る、**資料9**「学校給食沿革誌（昭和37年10月起）」より抜粋

（参考）原資料を当館が所蔵する、**資料11**「昭和27年度給食日誌」（水戸市立三の丸小学校より寄贈）も掲載しました。

(4) 那珂川の氾濫について

昭和13年（1938）6月、9月の氾濫の状況、[御真影奉遷（写真4）](#)、伝染病予防について ひたちなか市立枝川小学校所蔵、**資料10 I～V**「[水害状況並諸調査 川田尋常高等小学校](#)」（[写真3](#)）より抜粋

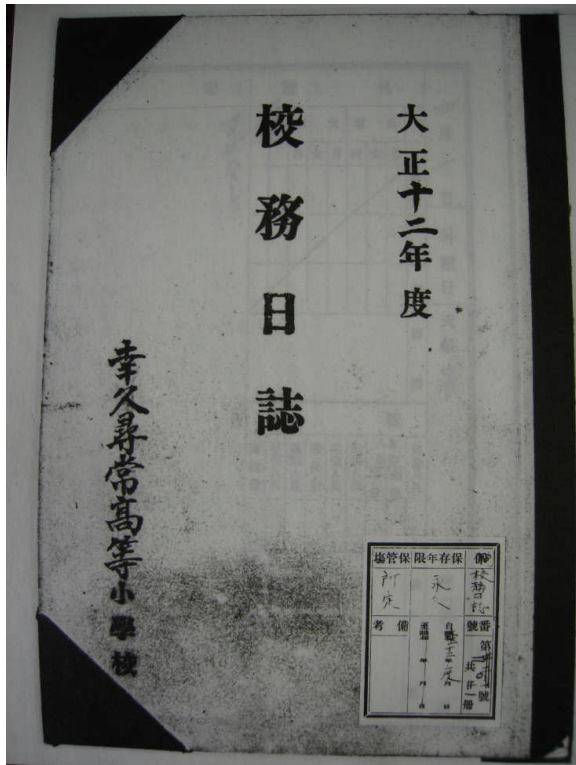
[資料4～資料11](#)（330KB） *左をクリックすると、資料を解読したものが表示されます。

これまで述べたことは、当館の文書館（アーカイブズ）機能の一例であります。これら以外にも、約2万5千点の行政文書、約6万5千点の行政刊行物や議会刊行物などを所蔵し、公開を行っております。これらは当館で閲覧できますので、ぜひご利用下さい。

（行政資料課首席研究員 富田 任）

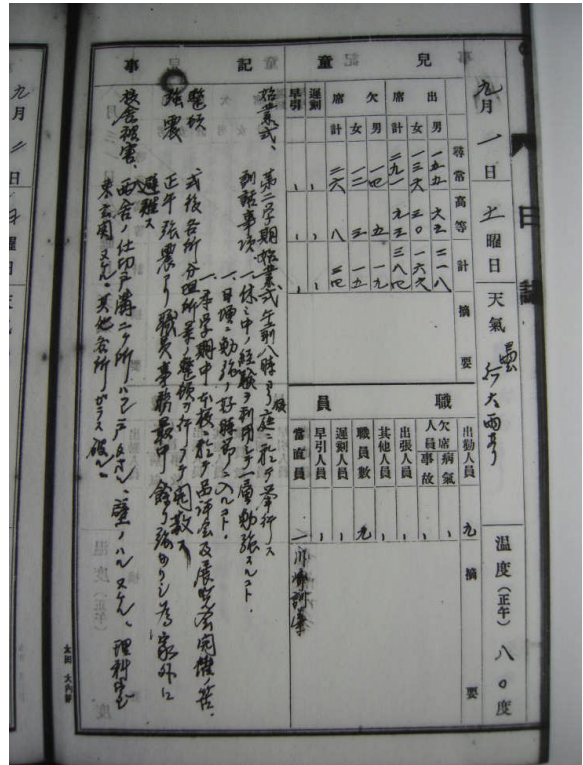
* リンクを用いて掲載した資料は、平成23年6月4日の「歴史教室」で配布したものです。

写真 1



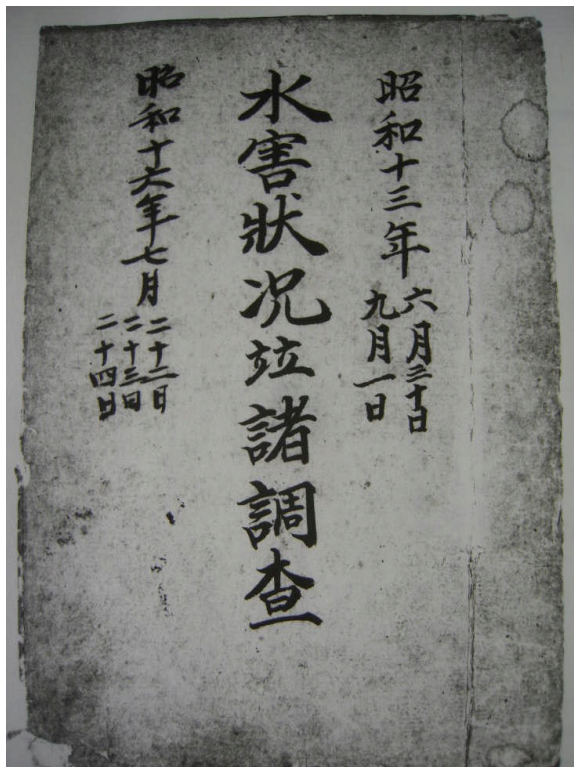
大正12年度 校務日誌

写真 2



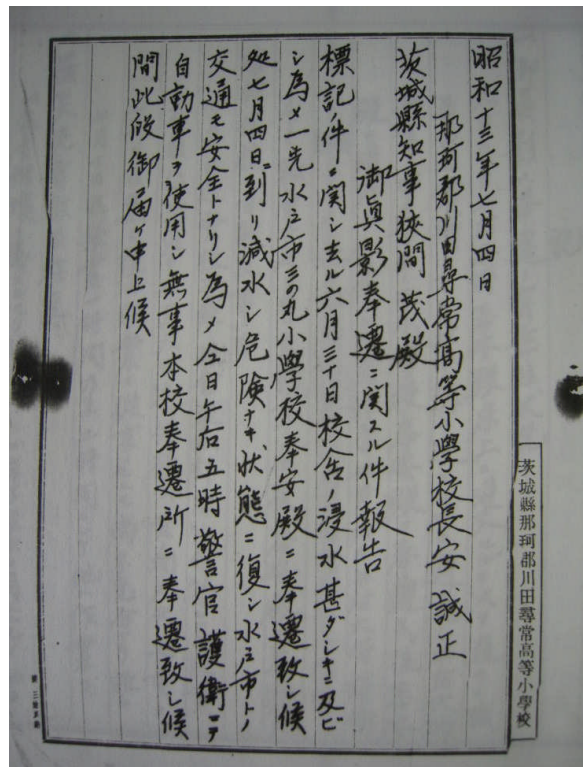
9月1日(土)の日誌

写真 3



昭和13年水害状況並諸調査

写真 4



御真影奉遷に関する件